

令和4年度愛媛から「体験の風をおこそう」運動推進事業  
「体験フェスティバルin交流の家」

### 1 ねらい

多くの地域住民の参加を得て、地域づくりの一拠点として「国立大洲青少年交流の家」においてフェスティバルを開催する。様々な体験プログラムを通して体験活動の裾野を広げるとともに地域住民の交流を図ることを目的とする。

また、令和4年10月が「体験の風をおこそう推進月間」であることから、子供や保護者を対象に、自然体験や生活体験等に取り組む「子ども体験遊びリンピック」を同時開催する。

### 2 実施日

令和4年10月15日（土）10時00分～15時30分（入場は15時まで）

### 3 内容

**展示コーナー** 華道展・人権啓発パネルの展示・リサイクル製品等の展示・ボーイスカウト運動の展示



**体験コーナー** ビニールプールカヌー・クライミング・放水体験・煙体験・茶道体験・人権まもる犬の作成・ロープワーク・流木クラフト・文香づくり・ミニ方位磁石作り・バードコール・昭和の遊び・モルック・ボッチャ など





#### 4 活動場所

国立大洲青少年交流の家

#### 5 参加対象

未就学児～大人まで

（未就学児は保護者の同伴が必要）

#### 6 参加者数

未就学児から大人まで 合計1,250名

#### 7 活動内容

新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、かんぼラジオ体操広場（ふれあい広場）、ホール等の広い場所やクライミング場等の屋外を中心とした体験ブースを設置し、密を避けた形で実施した。

かんぼラジオ体操広場では、ビニールプールカヌーや放水体験、煙体験、流木クラフト、昭和の遊び、モルック体験、ポッチャが行われた。初めて乗るカヌー等、子供達たちの一生懸命な姿に声を上げて喜ぶ保護者の姿が印象的だった。

芝生広場では、子ども体験遊びリンピック（OZU遊びリンピック）として紙ひこうき飛ばし大会を開催し、記録チャンピオンを目指して真剣に取り組む姿が見られた。その他、クライミング体験、華道の展示、茶道体験等の体験活動を楽しんでいただけた。

#### 8 参加者の声

事業後アンケートの結果（262名）

\*満足：90.2%      \*満足：8.7%      \*やや不満：0.0%      \*不満：0.0%

「いい体験ができた。またやってほしい。」「時間が足りなかった。もう少し楽しみたかった。」  
「スタッフの皆さんが優しかったので子供も安心して参加できた。」等の声を聞いた。また、令和元年度以来の協力団体もいたが、待ち望んでいたイベントとして無事に実施することができた。

（担当：事業推進係長 谷山 典）